

続くコロナ禍。私たちは協力し、ご利用者を支える。新しい安心と安全の形を考えながら



contents

- 特養ショートステイ
クリスマス会、七草の日、寿屋台 ほか
- デイサービスセンター
年末紅白歌合戦、クリスマス会
ビューティタッチセラピーがスタート ほか
- 長寿健康教室だんだん
クリスマスリース作り、
ノルディックウォーキング ほか
- 高齢者センターみやうち
新たな気持ちでスタート
- 地域包括支援センター
魅力ある地域づくり
地域福祉懇談会について
- 居宅介護支援事業所
コロナ感染拡大下における支援について
- まちだ園からのお知らせ

古くから「行くく1月、逃げる2月、去る3月」と言われる季節ですが、今冬は大寒波が押し寄せ、想定以上の降雪に見舞われたこともあり、長い冬となりました。当園では消雪パイプの融雪が間に合わず、職員総出で敷地内の除雪を行う日もありました。一番の心配は、当園ご利用者へ安全な送迎を提供することでしたが、今年度は全送迎車輛を四駆に更新し、多少の悪路でも安全に各事業所までお越しただけだものと安堵しております。

また、新型コロナウイルス感染症の感染例が連日報道され、不安が尽きない冬でもありました。当園では、積極的にワクチン追加接種に取り組み等、ご利用者と職員が一緒に感染防止対策に努めてまいりました。ご家族や関係者の皆さまへ引き続き「ご不自由をお掛けいたしますが、何卒ご理解を賜り感染防止対策にご協力をお願いしたい」と存じます。

さて、日ごとに暖かくなってきました。本格的な春の訪れももうすぐです。皆さまの健康と安全を心よりお祈り申し上げます。



巻頭ご挨拶

園長 高橋 直樹

日頃より、当法人の事業運営にたくさんのお力添えを賜り、心よりお礼申し上げます。

NEWS

まちだ園からのお知らせ
I have good news



写真(上)：ワクチン接種の様子。長岡保養園の協力のもと、無事に接種を終えた。



写真(左)：ワクチン接種の準備。集中して業務にあたる看護職員。

この冬、まちだ園では、皆様とご一緒に穏やかに新しい年を迎えることができました。12月には、(株)アークベル様から車いすを贈呈していただきました。思いやりの心が込められた、大変素晴らしい車いすをいただき感謝申し上げます。早速、皆様にお使いいただきました。

それから仕事始めの日には、理事長から年頭の訓示を受け、スタッフ一同、気持ちを新たに新年のスタートを切ることができました。

おわりに、新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ちてきたと感じたのもつかの間、全国的な広がりをみせています。当園では県や市の感染状況を検討し対策を行っています。ご利用者の皆様を守るために、3回目のコロナワクチン接種を進めさせていただきました。



写真(上)：理事長が年頭の訓示を述べる。



写真(左)：正面玄関の様子。園内では新年を華やかに迎える飾りつけがされた。



写真：(株)アークベル様から贈呈式でいただいた車いす。贈って下さった気持ちを大切に、日々介護にあたっていく。



編集・発行



社会福祉法人 長岡福寿会

〒940-1111 新潟県長岡市町田町540番地
TEL 0258-39-3927・FAX 0258-39-3946

まちだ園 長岡 🔍 検索



#まちだ園



編集後記

大雪の日もありましたが、皆様お元気に過ごしてはいかがでしょうか。おかげさまで、広報まちだ118号を無事に発行することができました。新しい年を迎え、皆様の幸せをいつも願っております。カメラを構えますと、ご利用者の皆様、そしてスタッフの元気な姿に出会えました。人の生きる強さ、きずなの大切さ、そういったことをカメラ越しに感じながら制作にあたらせていただきました。広報まちだをお手に取って読みいただいた皆様、本当にありがとうございました。

デイサービスセンターまちだ園・みやうち デイホームみやうち

特別養護老人ホームまちだ園・ショートステイまちだ園

楽しめることを考え、
それを実現しようと
努力すること

「今までは当然だと思っ
ていたことができなくなっ
た歯がゆさを日々感じて
いる」、そうふり返ったの
は、笹川典子係長生活相
談員。皆様に、「コロナ禍で
も変わらず日常生活を楽
しんでほしい」という思いは
他のスタッフと同じだ。

ご利用者の娯楽をどう
守るか。ご家族も、ボラン
ティアの方も園に入りに
きなくなり、その影響で貴
重な娯楽の機会は激減。
外からの刺激がなくなる
と認知症が進むとも、活動
量が減って身体が衰える
とも言われている。スタッ
フも、日々感染リスクにさ
らされながらも闘ってい
る。新型コロナウイルスの影響を受
けながらも、皆様の日常を
守るため、真摯に向き合
い、気持ちを盛り上げる工
夫を行っている。皆様を思
い、スタッフは日々奮闘し
ている。

年末年始も
楽しい企画満載で、
賑やかに正月を！

3つのデイサービスに
よる多彩なサービスと、
明るいスタッフが自慢の
デイサービス。

高橋弘和通所事業統括
責任者は、「令和3年の締
めくくりと新しい一年の
始まりを迎える季節。何
歳になっても師走のあわ
ただしさやお正月の準備
の活気、つつい心が躍
り息が弾んでしまいます。

デイサービスでは、ご
利用者の皆さんに活気あ
ふれ、賑やかなお正月を
過ごしていただくために、
楽しい企画盛りだくさん
で年末年始を営業いたし
ました。中でも、大晦日
に行う紅白歌合戦や元旦
の餅つき大会は大人気
です。ご利用者も職員も
みんなで楽しんで最高のイ
ベントでした。旨、ふり返
った。

デイサービスで新しい
一年がスタート。これか
らもデイサービスの活動
に期待いただきたい。



写真(上)：クリスマス会。
X'masツリーがきれい。
デイサービスの特別な日



写真(上)：年末のお楽しみ、紅白歌合戦！
ご利用者が歌う。にぎやかな1日



写真(上)：節分会の様子。春はすぐ
そこに。

写真(左)：ご利用者様手作りの作品。
デイみやうちに飾られている。



写真(上)：デイまちだ園では、「ビューティタッチセラピー」が
スタート。ぬくもり、優しさを感じて、心と体を健康にする。



スタッフの声！
Voice of the staff

私たちにいつも
あたたかく接し
て下さってあり
がとうございま
す。これからも
大好きな手芸を
楽しんでくださ
いね！



写真(上)：クリスマス会の様子。スタッフによるギター演奏やダンス
の出し物を楽しむご利用者様。



写真(上)：七草の日。食事前に春の
七草を目で味わう。七草御膳に期待
が高まる。



写真(左、中央、右)：新年寿屋台。懐かしい駄菓子を手
にとり、好きな飲み物を選ぶ。お正月らしい雰囲気になる。



お正月の行事、寿屋台の写真です。好きな駄菓
子を選んで頂いて、一緒にパチリ！いつも優し
く接して下さいありがとうございます。



写真(上)：柿小学校様訪問。「みんな元気？がんばってね」
優しい言葉をかけるみなさん。窓越しであっても思いは伝わる。

地域包括支援センター みやうち・やまこし

「参加者の視点」が大切！
魅力ある地域づくり



写真(上)：センター入り口。地域の皆様へ様々な情報が提供されている。

地域包括支援センターは、65歳以上の方の長岡市の公的相談窓口。「みやうち・やまこし」が担当する地域は、宮内・十日町・六日市・山通・太田・山古志地区である。

今回は、廣川明子主任相談員から「地域福祉懇談会」について話があった。「現在私どもでは、地域にお住まいの方、それから地区社会福祉協議会や長岡市健康課など、保健・福祉分野の担当者の方と、地域の福祉を取り組むべき課題などについて話し合う、「地域福祉懇談会」の開催を検討しています。会議では、参加者それぞれの視点から、地域の現状や課題について話し合うことができ、そして情報交換もできます。とても貴重



写真(右)：開催に向け、準備に励むスタッフ。準備のプロセスで地域を見つめ直す機会にもなる。

な機会です。ぜひ有意義な会にしたい」と意欲的だ。

魅力ある「地域づくり」には、みなさんの視点が大切。これからの地域包括支援センターの活動にご期待ください。

*地域福祉懇談会ですが、2月から3月にかけて、各地域で開催する予定ですが、新型コロナウイルス感染症の状況次第で中止の可能性もあります。

居宅介護支援事業所 まちだ園・みやうち

ケアマネジャーとして
でき得る支援に努める

経験豊かなケアマネジャーが揃う、居宅介護支援事業所まちだ園とみやうち。

ご利用者様、そしてご家族様の思いに対して、日々誠実に対応する。その仕事内容は多岐に渡る。

「居宅まちだ園」の永井聡ケアマネジャーは、新型コロナウイルス感染症の再拡大下の支援体制をあげた。

「県内・市内において、新型コロナウイルス感染症が再拡大し、猛威を振るっている。このような状況下で、いつもと同じ支援を行うことが難しい状況もあった。ご利用中の介護サービスの利用調整等の相談ごとに加えて、自宅での生活で感じる不安な気持ち等を傾聴する機会が増えた」と感じている。

「まちだ園とみやうち」のケアマネジャーは、感染拡大下においても、支援を継続していくことの重要性を共有。そのためには十分な感染対策を取りつつ、ご利用者様・ご家族様に寄り添うことのできる支援体制を



写真(右)：いつもと違う時、にはより丁寧に伝えあう。経験を伝え、学び、そしてスタッフが成長する。

整えておくことが必要であると。「ケアマネジャーとして、でき得る支援に努めていきたい」強い思いを持って、今日もケアマネジャーは「地域」を奔走している。

長寿健康教室 だんだん

作る喜び、動く楽しさ！
楽しさをいっぱい作るだんだんの冬



写真(上)：クリスマスリース作り。仕上げにリボンをついて。かわいらしいアイテムがみなさんのハートをつかむ。



写真(上)：ノルディックウォーキング。大きく体を使ってみる。不思議と心まで軽くなる。



写真(上)：だんだんの魅力は元気なスタッフ。みなさんを明るくお迎えする。

まちだ園の元気一番なサービス、長寿健康教室だんだん。

週一回(木曜日)、まちだ園の地域交流センター多目的ルームで行われている、送迎付きの介護予防教室。貯筋プログラムや口腔プログラム、民謡プログラムなどの講座を行っている。

「週一回、家から出ることで毎日が変わるのよね」と、いつもだんだんを楽しみにして下さる参加者の皆さん。今回は、クリスマスリース作りを企画。担当スタッフの齋藤愛美は、「木の実や赤いミニリンゴなどを飾り

付けて、とてもかわいいクリスマスリースができました。それから週一回、体操をして体を動かすことも大切と、にぎやかにトレーニングを行いました。新しい活動を増やして、皆さんにもっと楽しんで頂きたい」旨、話していた。心地よい雰囲気の中で、だんだんの活動が行われている。

高齢者センター みやうち

ことは、寅年、
気持ち新たにスタート！

地域の高齢者の皆様が、健康で明るい生活を過ごすことができるよう、様々な相談に応じたり、健康の増進や教育の向上、レクリエーションなどの総合的な施設として、多くの市民から利用され、愛されている高齢者センターみやうち。

センター1階ロビーには、毎月、地域にお住まいの皆様が展示されている。若月悟センター長から、「新しい年、寅年がスタートしました。古代中国で成立した十二支は、もともと動物とは



写真(上)：高齢者センター。南部地域の福祉の拠点。駐車場の雪山から撮影。

関係なく、方位や季節ごとに農作物の成長を表現する漢字が定められたそうです。よって今年には「寅年」ではなく、「寅年」です。新しい年に合わせ、1階ロビーには、新年にふさわしい作品が展示され、来館者の皆様が楽しんでいきます。作品は毎月変わります。職員一同皆様のご来館をお待ち申し上げております。顔なじみの方と親しく話す。コロナ禍だからこそ、そういった「日常」を大事にしたい。



写真(上)：エントランスには毎月、地域にお住まいの皆様からの作品を展示。こちらを楽しみに来館される方も多し。